

会長	副会長	事務局長	事務局員

平成23年度第4回平川市地域公共交通協議会会議録

開催日時	平成24年2月24日（金） 午前10時00分～午前10時45分
開催場所	平川市役所本庁舎3階 応接室
案件	1) 平成23年度事業報告 2) 新屋尾崎直行便の途中経過報告 3) 杉館・松崎線、岩館・大坊線の実証運行継続（案）について
出席者	<p>【出席者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤順一副会長 ・今俊一委員 ・木村雅彦委員 ・藤田潔委員代理 ・下山敏則委員 ・浅利次郎委員 ・大黒正勝委員 ・成田修治委員 ・田中友彦委員 ・古川敏夫委員 ・佐藤成子委員 ・小野敬子委員 <p>出席者12名</p> <p>【欠席者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊池武弘会長 ・葛西幸夫委員 ・豊嶋修委員 ・八木橋長委員 ・福田寛委員 ・田中和男委員 ・喜多秀行委員 ・山下祐介委員 <p>欠席者8名</p> <p>【事務局】</p> <p>事務局長：鳴海和正 事務局：長谷川尚道、小林豊</p>
鳴海課長	<p>みなさん、どうも。定刻となりましたので、只今より平成23年度第4回平川市地域公共交通協議会を開催いたします。まず、欠席者についてご報告申し上げます。菊池会長、社団法人青森県バス協会の豊嶋委員、黒石警察署の福田委員、青森運輸支局の田中委員、神戸大学の喜多委員、首都大学東京の山下委員、平賀ハイヤーの葛西委員が欠席となっております。</p> <p>なお、平川市建設部については、代理出席ということでご連絡いただいたんですが、今向かっているかもしれません。現在出席が20名中12名ということで、会議は成立しております。また、菊池会長が欠席となっておりますので、佐藤副会長に議事進行をお願いいたします。それでは、協議会開催に先立ちまして、佐藤副会長よりご挨拶をお願いします。</p>
佐藤副会長	<p>おはようございます。今日は、悪天候の中、しかも年度末ということで、皆様には非常にご多忙のところ、交通協議会に出席くださいまして、私からもあらためて厚くお礼申し上げたいと存じます。</p> <p>今日は、報告事項として、23年度事業報告並びに、新屋尾崎直行便の途中経過、加えて案件として、杉館・松崎線、それから岩館・大坊線の実証運行継続（案）についてお諮りしたいと思っております。</p> <p>今日は年度最後の交通協議会ですので、皆さんの慎重なるご意見を伺いたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
鳴海課長	<p>ありがとうございました。この後の議事進行については佐藤副会長をお願いいたします。よろしく申し上げます。</p>

佐藤副会長	それでは、23年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料に基づき説明
佐藤副会長	<p>只今、事務局の方から23年度の事業報告を簡単にご説明いただきました。これらについて、何かご質問なりご意見がございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>ないようですから、この件につきましては、また後でも結構ですので、思いついたらお願いしたいと思います。それでは、次に報告事項として新屋尾崎直行便の途中経過についてご説明をお願いします。</p>
事務局	資料に基づき説明
佐藤副会長	<p>只今、新屋尾崎直行便の経過報告、数字をあげてご説明いたしました。昨年よりは若干増えているけど、一昨年前よりは下回っている。大人の利用者が若干増えているというのがかいつまんでの説明だろうと思います。何かこの点についてご意見、ご質問ありましたらお願いしたいと思います。どうぞ、ざっくばらんにご意見を教えてください。</p> <p>大人が増えたという事はどういうことでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度までは、大人の方がこのバスを使えるのかどうかというのが、十分わかっていなかったっていうのがありまして、大人の人でも100円で乗れるんですよと言う事を、新屋の町会長さんなりを通じて周知いたしましたので、その結果がこのような大人の利用者数が増えたのではないかと、そういうことで思っております。</p>
佐藤副会長	<p>新屋尾崎線については、昨年も継続するか否かで、山下先生から色々ご意見いただきました。もう一回町会長さんを説得、継続しているんですけど、どなたかこれについてご意見ございませんでしょうか。これも報告ですけど、後でまたご意見なりご質問ありましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>それでは、以上報告2件については以上で終わって、4番の案件の①に入りたいと思います。それでは、①杉館・松崎線、岩館・大坊線の実証運行の継続についてお願いします。</p>
事務局	資料に基づき説明
佐藤副会長	<p>はい、只今2つの路線、杉館・松崎線、岩館・大坊線のデータ、利用者に基づいた数字と個人負担、市の負担、加えて住民の懇談会の模様。それぞれ2つの路線の実態並びに住民の声が報告になりましたけど、2つ合わせてでも結構ですし、杉館・松崎線別々でも結構ですので、ご意見ございましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>いずれも日曜日を休んでの結果でしたけど、特に豪雪の関係で思ったより数字が伸びなかったというような状況でしたけども。はたしてそれだけが原因なのか、もう少し皆さんのご意見、聞かせてもらえたら大変ありがたいと思っております。何かありませんでしょうか。</p>
下山委員	実証運行の日にち11月30までとなっておりますけど、何か意味があつてでしょうか。
事務局	<p>日曜日運休したのは昨年12月1日からとなっております。1年間このまま運行してとうことで11月30日までと設定しております。それ以降につきましては、来年度のおそらく10月下旬頃になるかと思うんですけど、協議会を開いて、11か月</p>

	<p>らの利用実績で判断するしかないかもしれないですけど、24年の12月1日以降の運行について、再度協議したいと思っております。1年間の実証運行ということで、24年の11月30日までということで設定しております。</p>
下山委員	<p>10月にまた呼んでいただければと思います。分かりました。</p>
佐藤副会長	<p>その他にご意見なりご質問ありましたらお願いします。</p>
大黒委員	<p>この報告書見ても。住民から杉館の場合は墓所の方まで入ってきてほしい、という風な要望があって、もしも入って行った場合、どのくらいのお客が増える感覚なのか。それと、岩館の方も、平賀の中心街、施設等を回れば増えるのではないかとありますが、これに対して、何かこう考えないといけないんじゃないかなという感触を受けたんですけど、事務局の方ではこのような意見に対してどのような感じをもっていますか。</p>
佐藤副会長	<p>只今、2点、3点くらいご質問ありましたけども、具体的に杉館・松崎線の場合の旧農協付近、墓所付近までと言って、回答には検討したいと書いていますけど。</p>
大黒委員	<p>懇談会の内容でどのような感触を受けたかどうか、増える可能性がありそうですか。</p>
事務局	<p>まず旧農協付近墓所の方まで入ってきてほしいということですが、これについては、実際現地を見て、弘南バスさんと話をして、実際できるかどうか、そこをまず確認しないと駄目ですので、そこを確認して今後検討していきたいと思っています。</p> <p>続きまして、平川市の中心街を循環するバスがあればいいと。その検討ということですが、こちらの方もできるかできないかを検証しないと行けませんので、弘南バスさんと協議しまして、実際どのくらいのニーズがあるのかというのも捉えないと行けませんので、その辺も含めて今後検討していきたいと思っております。</p>
佐藤副会長	<p>国の補助事業が3月末までということですので、その間に地域住民の意向がどの程度実現できるのかどうか、これからまた関係団体と話をして。そして、4月以降の継続に参考になるような、または反映されるような対策なりを考えてもらいたいと思っております。</p> <p>その他の2つの線についてのご質問、ご意見あったらお願いします。何しろ地域の懇談会の参加者のニーズも少ないので、意見は意見として私たちも受け止めなければなりませんけど。例えばマックスバリュまで、前にもできましたけど。1人の意見なのか、または何人かの意見を代表しているのか、そういった事も十分に検討して、継続なりの参考にしなければならぬと思っております。ご意見ございませんでしょうか。その前の報告の件についてでも結構ですので、どうぞ時間の許す限り皆さんの意見を伺いたいと思っておりますがお願いします。</p> <p>それでは、杉館・松崎線、岩館・大坊線の実証運行（案）の継続についてですけども、承認したものとして決してよろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、協議会の案件はすべて終了いたしましたけど(2)その他もありますので、何かこの機会に参考になるご意見がありましたら、お願いしたいと思</p>

	います。
大黒委員	この協議会は、国の補助事業としてやられているわけですが、青森県内でこの設置されている状況というのは、どうなっているのか。特に近隣市町村の弘前、あるいは黒石市なんかでも、このような協議会を設置して市民の足の確保のため努力しているのか。あるいは、わかっていたら弘前市なんかの実態、内容と比べればいいか、どのくらいの利用者、利用者が多いのか少ないのか、あるいは赤字なのかもしわかっていたら簡単にご説明願えればと。
佐藤副会長	今の段階で、回答になるような資料お持ちですか。
事務局	詳しい資料はこちらでは持ってないですけど、バスの利用者につきましては、平川市だけでなく他の自治体でも利用者数は減っていると思っております。 協議会につきましては、黒石市、大鰐町、弘前市で協議会が設置されていると聞いています。他の自治体の協議会の設置につきましては、私のほうで確認していないんですけど、そのような状況になっております。
大黒委員	弘前、黒石も 100 円ですか。
事務局	弘前は土手町の循環バスなど 100 円、黒石のぷらっと号も 100 円でやっております。平川市では 200 円で運行させていただいています。
藤田委員代理	ぷらっと号に関してはここ 2 年くらい伸びてますよ。10%~11%くらい。
下山委員	私、弘前市の方に携わってるんですけど、今年国の補助事業でコンサルタントを示して最中に行っているんですけども。中々各地域が平賀、黒石よりかなり広い範囲になっていますので、バスが通れないところ、入っていけないところ、色々要望来ているようですし、バスの終点のところまでデマンド方式とか今はジャンボタクシーですね、乗る人が前の日に市役所に電話して、何人かいればそれを回って、バスの終点の所まで運んで、バスで弘前市内まで来ると。今そのような実証実験をするようになっています。弘前のほうもかなりバスの方、特に山手の方がかなり大変らしいので、その辺のところを実証実験やるようになっています。 大鰐の方も話ちょっと聞いているんですけど、タクシーで駅まで来ているらしいですけどね。何人か組んでタクシーで来て。それも町の方で補助しているのか何か。タクシーでも料金を安くして、駅まで回って来ているらしいです。そういう話も聞いておりましたけど。だから、タクシーの方は、利用はあるけども、料金は安い。そういう話は聞いたことありますけど。何かそういう状況を聞いていました。弘前の方も今のところはそういう状況です。
佐藤副会長	司会が意見を出さない方がいいんですけど、私も週に 1 回弘前のサークルに行って、その人たちが 100 円バスを利用して、さくら野のデパートに来ているんですけど、結構弘前市の場合には、平川市と違って人口とそれから住民だけでなく最寄りのお客の人達も多いので、比較にはならないけど、結構 100 円バスは利用しているような感じは受けています。 比較するとなれば黒石辺りが 1 つの人口からいってあれでしょうけど。何か事務局の方で、こういうふうな主張があったということで、できればもう少し詳しく説明をお願い出来ればありがたいなと思っております。

	<p>色々地域の懇談会で、病院バスの関係、商店街の関係というふうな意見もありましたので。できれば3月中あたりに探って検討してもらいたいと思います。</p>
木村委員	<p>実は、地域公共交通の関係ですね、今までも各地域の市町村の関係で協議はされていると思うんですけど、今度定住自立圏が結ばれて、中心市と各市町村が結んでいるんですが。その中でもこの地域公共交通というのが取り上げられて、4月から今度は具体的に動くという形になりますので、平川市の地域公共交通も網羅するという形で、圏域の利用状況、利用の仕方というのが出てくるとと思いますので、そういうことも踏まえながら今度は協議できるのかなと思っています。以上です。</p>
佐藤副会長	<p>只今、部長さんの方から参考意見がでましたけど、何かその他にこの機会にご意見がありましたら、または参考意見がありましたらお願いしたいなと思っています。</p> <p>それでは、無いようですので協議会の案件は、全てこれで終了ということで本日は終わりたいと思います。どうもありがとうございました。</p>

以上会議顛末を報告するものである。

(報告者氏名) 事務局員 小林 豊